

広報文芸

自由律俳句

おくさの会編集室選

ころろと並べたカボチャの豊作でして	茶屋 小林 道子
やっと秋長袖半袖忙しく	宝谷 長尾 智恵
雨音を聞き気持ちゆったり日曜の朝	茶屋 木山 輝子
心配すればきりが無い心配性の私	茶屋 長谷川由美子
秤に乗って幸を振りまくサツマイモの太さ	茶屋 藤原 寿郎
忘れる事少しずつ増す今日この頃	神戸上 柴田 篤子
恙なく秋明菊供える夫の仏前	生山 渡辺 圭子

俳句

駄句駄句会編集室

年越せど裏金の罪忘るまじ	萩原 岡本 健三
風音を聞きて銀杏拾いゆく	宮内 木村萬佐子
炬燵出す亡母にならいて大安に	宮内 田邊登志美
朝日さす眩しいばかり八つ手かな	宮内 船越 裕子
郷土愛ねんりん選手唄の秋	矢戸 和田 淑子
友は逝くもみじの中をゆつくりと	神戸上 笹間 玲子
わが空家コスモス一輪いばつて	花口 田邊 正人
清水汲む千年の慈悲長樂寺	下石見 矢田貝 元
除夜の鐘撞く人聞く人眠る人	花口 新田 祐士
初詣で出会うは毎年同じ人	花口 新田 祐士

短歌

これつきりこれが最後と今年また一面影追いて年賀状書く
ポタポタと空から雪が舞い降りる スタンド走るタイヤ交換
実行と決断如何におわします 真理の中に我が道ありて
厳冬の凍付く歩道は避け行きて 武道館にてノルディックウオーク
新春やとんださん後の初寄合い 膝を交えて楽酒を飲みぬ
バカタレが誰にも言えずに猫に言う 腹の立つ事数々有りて

湯河 山田 司郎
下石見 浅川 三郎
下石見 浅川 三郎
上石見 福田 輝之
上石見 福田 輝之
下石見 佐伯みすず

広報にちなんでは、みなさんから投稿のあった俳句・短歌・川柳をご紹介します。



「手話教室のお知らせ」

手の動きや顔の表情で意思を伝える手話。鳥取県では手話言語条例制定後、手話を見かける機会が増えています。日南町手話サークルでは、1ヶ月に2回のペースで基本的手話の学習会を開催しています。手話に興味をお持ちの方は、一緒に手話を学んでみませんか。

1月の日程

1月～3月はお休みします。

「蛇・巳」



右手の親指を立てて指先を前に向けて蛇がニョロニョロと動く様子を表現。斜め前に動かす。

「お年玉」



両手人差し指を左右から内側に上下に置く。
お正月・元旦の表現
1月1日を表す。



右手の親指と人差し指で輪をつくり左手の親指と4指の間に入れる。輪はお金にみたてポチ袋に入れるイメージ。

「手話表現には、色々な表現方法があります。」

